

都市再生整備計画

じょうとうしゅうへん
城東周辺地区

おかやま 岡山県 つやま 津山市

平成24年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	オカヤマケン 岡山県	市町村名	ツヤマシ 津山市	地区名	ジョウトウキョウノハナチク 城東周辺地区	面積	85 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

歴史・文化資源を活用した交流と賑わいのまちづくり
 目標1:旧出雲街道の歴史的なまちなみ景観を創出し、津山城跡との連携を強化した歴史・文化を活かしたまちづくりを推進する。
 目標2:新洋学資料館を核とした観光・文化ゾーンの形成を推進し、観光地としての魅力を向上する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・津山市城東地区は、武家地・町人地・社寺地などを小路で区割した江戸期の「都市計画」がそのまま残されている。
 ・旧出雲街道沿いには、「作州城東屋敷」や「箕作阮甫旧宅」、「城東むかし町家(旧梶村邸)」など往時を偲ばせる歴史的な建物の保存が図られている。
 ・まちづくり交付金事業の活用により整備を行っている新洋学資料館が平成21年3月に完成する予定であり、周辺の観光資源等を周遊する拠点としての機能や市民の憩いの場となることが期待されている。
 ・津山城跡は、昭和38年に城郭の主要部分である本丸・二の丸、三の丸を中心とした範囲が国史跡に指定されている。平成17年3月には、築城400年を記念して城内最大規模の櫓である「備中櫓」を復元した史跡津山城跡保存整備事業が完成し、城下町津山の都市イメージのシンボルとなっている。

課題

・城東地区には、多くの歴史・文化資源が存在しているが、旧出雲街道自体の距離が長く、小路が多いことや目印となる看板等が少ないため、その位置がわかりにくくなっており、貴重な観光資源が十分に活用されていない。
 ・旧出雲街道の両側には電柱や架線された電線類が多くあり、歴史的なまちなみを阻害している。また、観光の主要な動線となる出雲街道沿いのバリアフリー化や観光客の利便性・快適性を向上する環境整備が求められている。
 ・新津山洋学資料館の集客効果を周辺の観光施設やまちづくり活動等の活性化に活かす取り組みが必要である。
 ・城東地区と津山城跡周辺地区の両地区の一体性を高め、観光客の回遊性を向上することにより、津山を代表する観光・文化ゾーンの形成が求められている。

将来ビジョン(中長期)

・平成20年3月に策定した津山都市計画マスタープランでは、まちづくりのテーマを「歴史と文化を未来につなぐ緑あふれる環境都市"津山」とし、主要目標として 県北の中心都市にふさわしい活力ある都市、自然と共生するままとりのある都市、特色ある資源をまちづくりに活かした魅力的な都市、子どもから高齢者、障害者等すべての人にやさしい都市、明日を担う人材の育成の5つを掲げている。
 ・まちづくりの推進方法としては、市民・NPO・民間企業などと行政との適切な役割分担のもとに「協働のまちづくり」を推進するといとも、まちづくりへの住民の参加機会の提供に努めることとしている。
 ・平成20年に施行された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき作成される「歴史的風致維持向上計画」に記載される「歴史的風致」の維持向上を促進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光施設利用者数	人/年	城東地区の主要な観光施設(作州城東屋敷、城東むかし町家、箕作阮甫旧宅、洋学資料館)の入館者数	城東地区の主要な観光施設の入館者数を観測することで、観光・文化ゾーンとしての魅力の向上を確認する。	28,556	H19	40,000	H23
旧出雲街道のまちなみが魅力的であると思う人の割合	%	観光客や地域住民を対象としたアンケート調査において、「魅力的である」と回答した人の割合	旧出雲街道のまちなみの魅力向上を確認する指標として、観光客や地域住民の満足度を調査する。	43	H19	50	H23
文化活動参加者数	人/年	城東地区で開催される歴史・文化に関わる研修会・ワークショップの参加者数	歴史・文化資源を活用した交流の賑わいの状況を把握する指標として、文化活動に関する研修会等への参加者数を確認する。	0.0	H19	地区住民の5%	H23
町並保存建造物数	件/年	城東地区町並重点整備地区内での歴史的町並の保存に必要な建造物の修理・修景・復元の件数	地区内の修理・修景等の建造物の件数を把握することで、歴史的資産を活用したまちづくりの意識の向上を図る。	1	H19	3	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(まちなみ保存・景観整備による観光資源の魅力向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧出雲街道の電線類を地中化することにより景観や歩行者の安全の向上を図る。 ・旧出雲街道の舗装の美装化とバリアフリー化を推進する。 ・地域住民との協働により、旧出雲街道沿道のまちなみ保存・修景整備を進め、津山城跡との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高質空間形成施設」基幹 / 電線類地下埋設施設 ・「高質空間形成施設」基幹 / 緑化施設等(カラー舗装等) ・「地域創造支援事業」提案 / 電線類地下埋設施設(民間) ・「まちづくり活動推進事業」提案 / 町並修景整備 ・「まちづくり活動推進事業」提案 / 研修会・ワークショップの開催
<p>整備方針2(観光客の回遊性の向上と交流促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内板の整備により城東地区と津山城跡周辺地区の一体化を図ることで、観光客の周遊性を向上する。 ・新津山洋学資料館を核とした観光・文化ゾーンを形成する。 ・歴史的資産を活用した市民活動等の活性化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域生活基盤施設」基幹 / 城東地区案内板 ・「まちづくり活動推進事業」提案 / 津山大名行列の復元 ・「まちづくり活動推進事業」提案 / 研修会・ワークショップの開催
<p>その他</p>	
<p>交付期間中の住民参加 新津山洋学資料館の完成による集客効果を十分に活用し、研修会や市民ワークショップ等への住民参加の気運を高めながら、地区住民や民間団体等との協働によるまちづくりを推進する。</p> <p>交付期間中の計画管理について 交付期間中における事業実施及び調整については、市内部の関係部局による横断的な組織において計画管理を行う。 なお、事業実施状況や数値目標の達成状況については、広報誌や市のホームページ等を利用し、市民に公表する。</p>	

城東周辺地区(岡山市津山市) 整備方針概要図

目標	歴史・文化資産を活かした交流と賑わいのまちづくり	代表的な指標	観光施設利用者数 (人/年)	28,556 (H19年度)	40,000 (H23年度)
			景観に関する満足度 (%)	43 (H20年度)	50 (H23年度)
			文化活動参加者数 (人/年)	0 (H20年度)	地区住民の5% (H23年度)

